

あの新燃岳2011年噴火から今年で10年

公開シンポジウム

新燃岳2011年噴火は何をもたらしたのか？

主催： 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所九州支所
共催： 霧島ジオパーク推進連絡協議会
後援： 九州森林管理局，九州地方環境事務所，霧島市，都城市，小林市，えびの市，曾於市，高原町



講演内容と演者

霧島山新燃岳噴火

ーこれまでの活動と今後の見通し

井村隆介（鹿児島大学共通教育センター）

2011年新燃岳噴火に伴う土壌への影響（仮）

石塚成宏（森林総合研究所立地環境研究領域）

新燃岳噴火後に見られたとても珍しい植生変化

安部哲人（森林総合研究所九州支所）

開催要綱

令和3年2月6日（土）

会場 国分シビックセンター多目的ホール

開場 13:00，講演 13:30～16:00

参加には事前に申し込みが必要です。

申込先 霧島ジオパーク推進連絡協議会

kiri-geopark@po.mct.ne.jp

TEL: 0995-64-0936

（コロナ予防のため先着80名とさせていただきます）

問合先： 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所九州支所 安部哲人
〒860-0862 熊本市中央区黒髪4-11-16 電話096-343-3730（直通） FAX 096-344-5054 e-mail tetsuabe@ffpri.affrc.go.jp

この印刷物は印刷用の紙へリサイクルできます

公開シンポジウム

新燃岳2011年噴火は何をもたらしたのか？

ここ数年、日本では自然災害が毎年のように発生しており、防災への関心が高まっています。新燃岳では2011年1月末に大きな噴火が発生しました。当時、誰もが驚いた大噴火は周辺地域に大量の降灰をもたらすとともに、改めて火山の恐ろしさを認識することになりました。その後、10年が経過した現在、当時の記憶も次第に希薄になりつつあります。また、火山噴火は稀な自然現象であり、国立公園でもある本地域の自然環境に大きな影響を及ぼしました。

本シンポジウムでは、新燃岳噴火後10年のこの時期に当時の噴火を振り返ることで防災意識を再び高めるとともに、噴火後に行った自然環境のモニタリングから得られた科学的成果の普及を目的として、3名の研究者に講演していただきます。

13:30-13:40

開会挨拶： 陣川 雅樹（森林総合研究所九州支所長）

13:40-14:20

霧島山新燃岳噴火ーこれまでの活動と今後の見通し

井村 隆介（鹿児島大学共通教育センター）

2011年1月26日に始まった霧島山新燃岳の噴火は、約300年ぶりの本格的噴火と言われ、その規模も戦後最悪の噴火災害をもたらした2014年御嶽山噴火の100倍以上のものでした。しかしながら、新燃岳の噴火から1か月あまり後に発生した2011年東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の被害があまりに大きかったので、この新燃岳の噴火の実態についてはあまり知られないまま今日に至っています。講演では、この10年間の霧島山新燃岳の活動の推移について解説するとともに、現在の霧島山の状況と今後の火山活動の見通しについてお話ししたいと思います。

14:20-15:10

2011年新燃岳噴火に伴う土壌への影響

石塚 成宏（森林総合研究所立地環境研究領域）

噴火後に直下の土壌に与える影響を知るために、火山噴出物と直下土壌の物理性と化学性の経時変化を調べた。火山噴出物は概ね薄い細粒質の火山灰層と厚い粗粒質の軽石層であった。水溶性イオン類や硫黄含有量などは過去の国内の火山灰より相対的に少なく、1年半という期間では経時変化は少なかった。今回の噴火による火山噴出物中には硫黄があまり含まれておらず、土壌を介した樹木被害が発生することは考えにくいと結論付けた。火山噴出物から溶出する成分の化学的特性を調査した事例は限られており、今後は被害の予測のために何を測定すればよいかを考えていく必要がある。

15:10-15:30 休憩

15:30-16:10

新燃岳噴火後に見られたとても珍しい植生変化

安部 哲人（森林総合研究所九州支所）

火山噴火は大きな自然攪乱の一つですが、一般に発生頻度は高くないため噴火による植生変化は学術的に貴重な記録です。2011年の新燃岳噴火は南東方向を中心に植生被害が発生しました。この被害とその後の回復を明らかにするため、火口直下と火口の南東2.5~3.5kmで5カ所ずつ植生を調査しました。その結果、火口直下ではほぼ全植生が消滅しましたが、火口の南東地域では距離に応じて優占種アカマツだけが衰退していました。この選択的な攪乱は落葉樹に葉がない1月に噴火したためと考えられます。こうした単発的な噴火の場合、噴火のタイミングと規模によっては選択的攪乱により多様な植生を生み出す可能性が示唆されました。

16:10-16:30 総合討論

自然災害が多発する今、2011年新燃岳噴火の教訓を今一度再確認するとともに、火山の恵み、かわり方について、参加者一同の理解を深めることができればと思います。